



チーム玉幡

令和2年6月12日

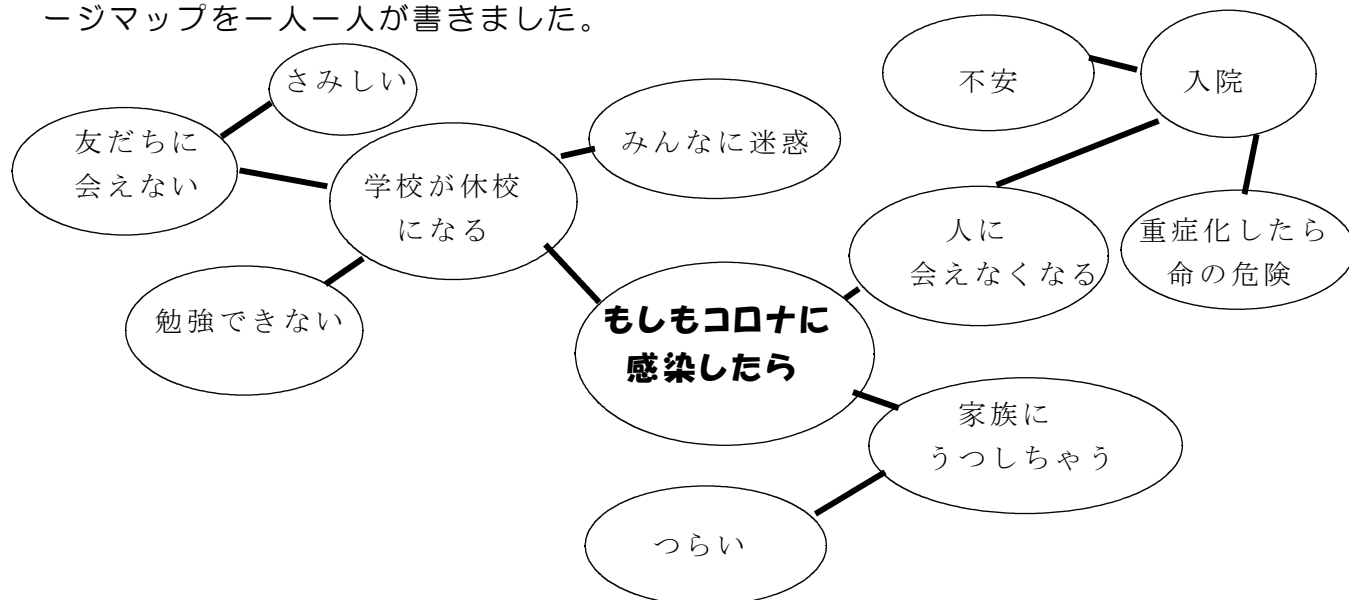
学校長 丸茂和也

自分の命を守る、大切な人の命も守る

学校再開から3週目に入りました。感染症予防のために、「新しい生活様式」に取り組んでいます。緊急事態宣言は解除されたものの、気を緩めることのできない日々が続いています。

学校は子供たちにとって楽しいところであるべきで、子ども同士が互いに力を合わせ、時にはぶつかり合いながらも折り合いをつけながら学び、人間関係や社会性を身につけていく場でもあります。今日廊下を歩いていると、ある3年生の男の子が「コロナ早くなくなるといいね、なくなるようにぼくもがんばる」と話してくれました。子供たちもこう思っているのだ、力を合わせて、この状況を何とか乗り越えて、みんなの笑顔がある毎日を過ごしていきたい、と思いました。

5年生が、新型コロナウイルス対策の学級会を開いてくれました。そこでは始めに「もしコロナに感染してしまったら・・・」どんなことが起きるのかを想像してイメージマップを一人一人が書きました。



そして、今自分たちにできることは何だろう？自分や家族、友だちの命を守るためにできることとして

- ①「うがい・手洗いをしっかり忘れずに行う」
- ②「マスクを必ずして外出する。もしも忘れたときは、なるべくお店や人の家に寄らずに帰る」
- ③人との距離をとって並んだり、歩いたりするように意識する。
- ④友だち同士で、距離が近いときには声をかけ合う。



⑤ 休み時間の過ごし方として、一人一人が意識をもつ。でもつい忘れてしまうときは声をかけ合う。

などの意見が出て、自分がいつも意識をもって、みんなで声をかけ合って、コロナを防ぐ気持ちを高くもつようにしていきたい、とまとめをしてくれました。

自分や大切な人の命を守るために、自分ができることを考えて、自分からやっていく、みんながそんな気持ちで取り組んでいけば、この難しい状況もきっと乗り越えていけると思わせてくれました。

6/11の新聞報道によると、山梨県内は感染者の割合が人口比率では全国で4番目の高さで、市中感染が心配されるとのことでした。放課後の生活について、以下の内容は学校でも指導をしましたが、ご家庭での指導をあわせてお願いします。

1. 遊ぶときはマスクをする。外遊びの時は熱中症予防でマスクを外してもよい。しかし室内に入るときは必ずマスクをする。マスクを忘れたらよその家には入らない。
2. 室内で大勢で遊ばない。ソーシャルディスタンスと言われる人との間は2m（最低1m，ゲーム等に夢中になって近づきすぎないように）

またスポーツ少年団等の活動も再開されると思います。学区を越え広域の交流になることが予想されます。子どもたちの体調を把握し、発熱や風邪の症状、嘔吐や下痢等の症状が見られる時は、無理せず参加を控えるようお願いします。

「ありがとう」の気持ちを

朝、校門に立つ。今日も集団登校で班長を中心にしっかり並んで登校して来た。そして「おはよう」のあいさつを交わすことができた。毎日6年生も進んであいさつに立ってくれる。校舎内では先生たちや子供たちとの温かなやりとりがたくさん見られる。昨日調子が良くなさそうだったあの子は…今日は元気そうだ、笑顔が見られる。健康が戻るように、笑顔になるようにお家の方や先生たちがたくさん力を尽くしてくれたのだな。授業中に聞こえる子供たちの「分かった」の声。うれしそうな歓声。ここにもたくさんの人の心がある。本を借りてうれしそうに歩いている子。「今日の給食おいしかった」と笑顔で話してくれる子。さようならのあいさつの後、「今日楽しかった?」と聞くと笑顔で「楽しかったよ」と答えてくれる子。子供たちの笑顔を多くの方が支えてくれている…ここには書き切れないくらいたくさんの人たちへの「ありがとう」が学校の中にはいっぱいです。

感染症予防、新しい生活様式という制限の多い毎日ですが、こんな時だからこそ、お家の方が送り出し、子供たちが毎日学校にいて創られる日常の一つ一つの出来事のすべてを有り難いものと感じます。学校の中にいっぱいある「ありがとう」をたくさん感じ、伝えたいと思っています。



逆上がりにチャレンジ



みんなで遊ぶって楽しいね



大きくなあれ、バケツ稲